

東京湾海況情報 27-5

東京湾水質調査結果（平成27年8月）

（平成27年8月12日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 8/3：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報(8/3)、東京湾口海況図(8/3)
 モニタリングポスト(8/3：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
 東京都環境局(8/4-5)、神奈川県水産技術センター(8/5)

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は内湾中央から北部が28～30℃台、内湾南部から内房海域は25～27℃台で、湾奥を中心に30℃を超える高水温となっていました。塩分は内湾がほぼ30PSU以下、内房海域は31～33PSU台で、アクアライン以北の海域では依然低塩分状態が続いています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、内湾中央部(st. 3～J5)付近で水温、塩分とも表・底層の差が大きく、かなり強い成層状態になっています。

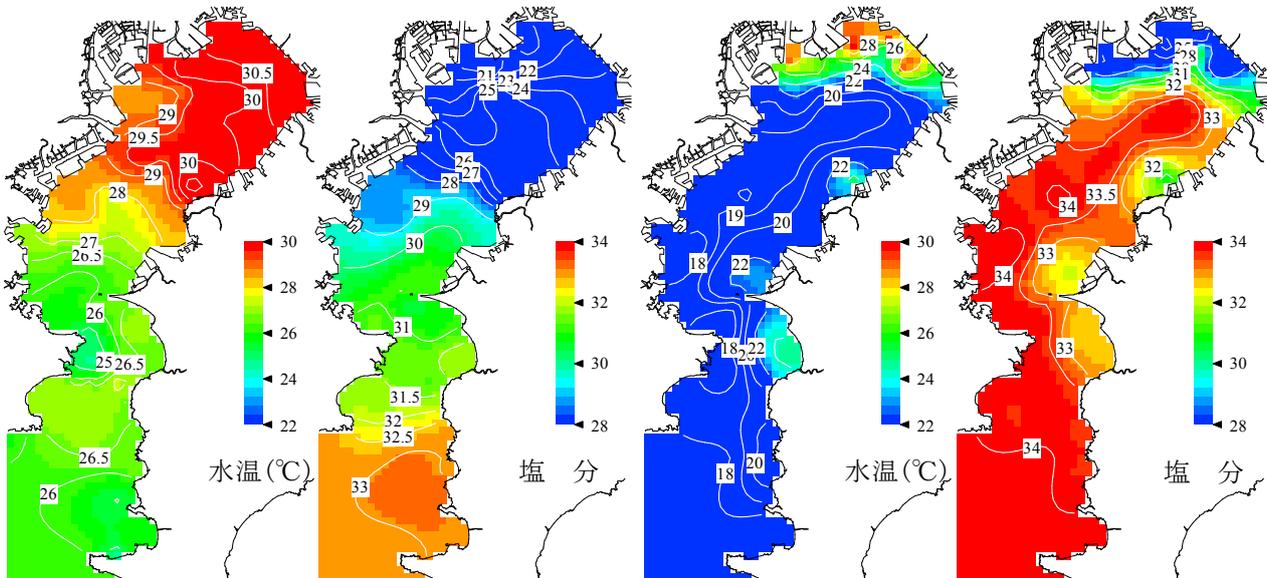


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

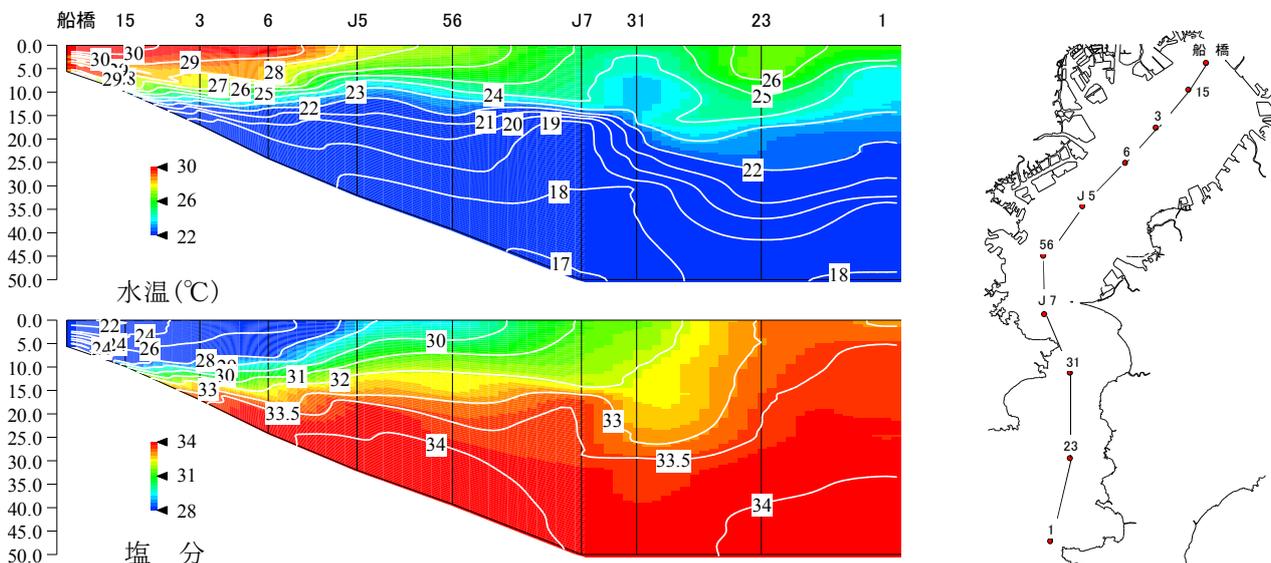


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

羽田沖から浦安、船橋にかけての内湾北西部側を中心にpHが8.5～8.6と高く、透明度は1.5m前後で、水色も褐色を帯びているところがみられましたが、懸濁物がかなり多かったことから赤潮にはいたっていませんでした。

プランクトンは渦鞭毛藻のプロロセントルム (*Prorocentrum micans*)、ケラチウム (*Ceratium furca*) 及びケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) がやや多くみられました。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域では、プランクトンは少なく、ケイ藻類がみられる程度でした。

これらは、いずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

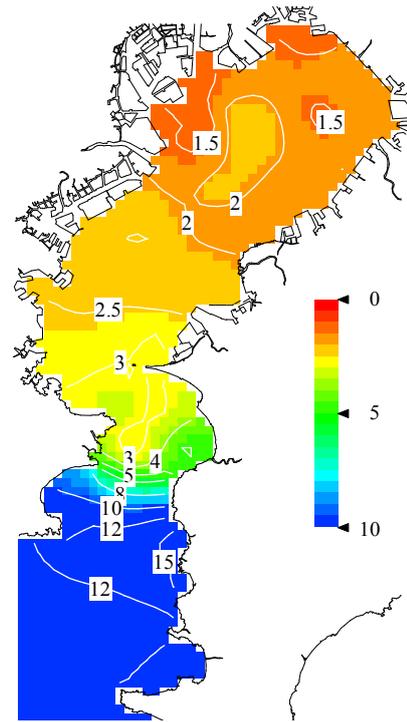


図4 透明度の分布 (m)

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μg/L以上

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は北部海域でさらに低下し、0.25ml/L以下の強い貧酸素水塊が広く分布していました。

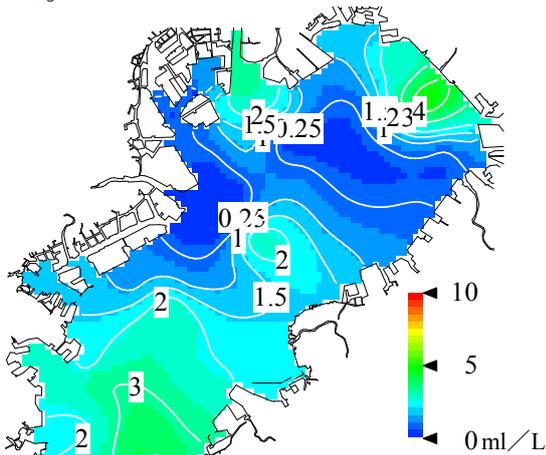


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

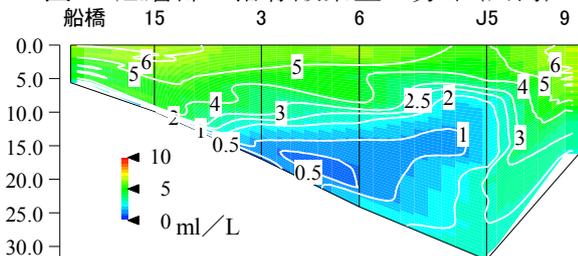


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO₄-P)ともほぼ全域で平年より少なくなっています。

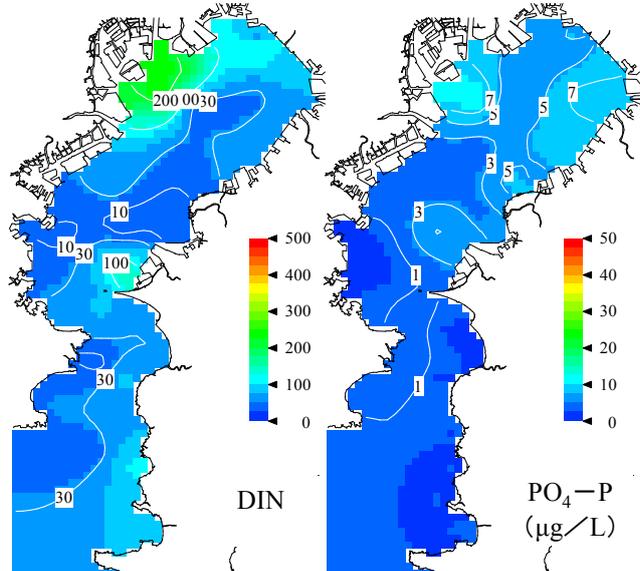


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は7月末頃からB型基調に変わり、その流軸は3日現在御蔵島付近を通り、東進した後、房総半島南東岸を蛇行しながら流れています(図8)。

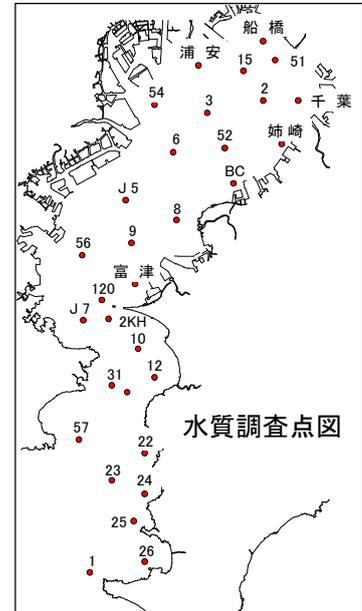
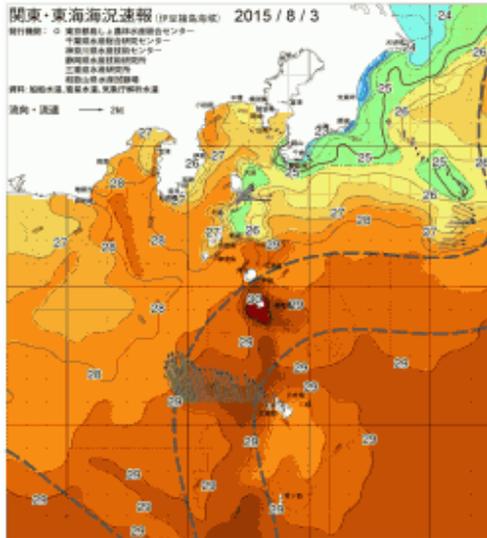


図8 黒潮の動き (平成27年 8月 3日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
船橋	30.5 (28.2)	21.74 (23.67)	1.3 (1.3)	8.6 (8.7)	2.4 (3.9)	19 (45)	45 (162)	6 (11)	分析中
st. 15	30.3 (28.0)	22.06 (25.34)	1.6 (1.5)	8.6 (8.7)	0.4 (1.9)	52 (36)	81 (111)	4 (6)	
st. 3	29.7 (27.4)	25.23 (26.64)	2.4 (2.0)	8.5 (8.7)	0.4 (1.3)	22 (34)	30 (50)	3 (6)	
st. 6	29.6 (27.4)	25.26 (26.86)	2.2 (2.3)	8.5 (8.6)	1.6 (0.8)	26 (37)	35 (62)	2 (6)	
st. 9	27.0 (26.3)	30.18 (29.20)	2.2 (2.5)	8.4 (8.5)	2.2 (2.5)	3 (22)	5 (62)	5 (6)	
st. BC (盤洲Cブイ)	30.1 (27.8)	25.60 (27.97)	1.6 (2.2)	8.5 (8.6)	1.4 (3.4)	18 (21)	32 (43)	5 (5)	
st. 8 (盤洲A南)	28.4 (26.6)	29.40 (29.46)	2.2 (2.5)	8.4 (8.5)	1.6 (2.2)	3 (19)	4 (31)	2 (5)	
富津	26.4 (25.8)	30.97 (30.34)	3.0 (3.0)	8.2 (8.4)	2.9 (2.7)	78 (31)	123 (42)	2 (2)	
st. 2KH (第2海ほ下)	26.3 (25.5)	30.35 (30.76)	3.0 (3.7)	8.3 (8.3)		17 (25)	60 (47)	2 (8)	
st. 31	24.6 (25.1)	31.34 (31.56)	3.0 (6.3)	8.3 (8.3)		3 (22)	6 (41)	2 (5)	
st. 23	26.5 (25.4)	33.11 (33.05)	13.0 (12.7)	8.3 (8.2)		3 (18)	26 (27)	ND (2)	
st. 1	25.9 (24.9)	32.87 (33.51)	12.0 (14.6)	8.2 (8.2)		10 (21)	49 (28)	ND (2)	
st. 10 (下洲沖)	26.7 (25.1)	30.78 (31.32)	3.0 (4.4)	8.3 (8.3)		3 (19)	32 (40)	ND (4)	
st. 12 (湊沖)	26.5 (25.6)	31.78 (31.28)	5.0 (4.6)	8.3 (8.3)		4 (20)	32 (33)	ND (3)	
st. 22 (保田沖)	26.4 (25.6)	32.95 (33.07)	16.0 (12.1)	8.2 (8.2)		31 (18)	54 (26)	ND (2)	
st. 24 (富山沖)	26.2 (25.4)	32.98 (33.20)	15.0 (11.0)	8.2 (8.2)		71 (16)	95 (20)	ND (1)	
st. 26 (館山湾内)	25.7 (25.2)	33.03 (33.44)	13.0 (13.0)	8.2 (8.2)		36 (15)	67 (21)	ND (2)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。